

群馬工業高等専門学校		開講年度	令和02年度 (2020年度)		授業科目	英語B
科目基礎情報						
科目番号	2A039		科目区分	一般 / 必修		
授業形態	授業		単位の種別と単位数	履修単位: 2		
開設学科	一般教育		対象学年	2		
開設期	通年		週時間数	2		
教科書/教材	四訂版 UNITE 英語総合問題集 STAGE 2 : 英語問題研究会(編著者) : 数研出版 : 978-4-410-38944-3					
担当教員	熊谷 健					
到達目標						
1. 英単語の中に存在する法則性を理解し、単語の綴りや発音、意味、働きを効果的に覚え、高専2年生に必要な語彙力増強ができる。 2. 高専1年で学習した基本的な文法を学び直すことで、英文を正確に読み取ることができる。 3. さまざまなテーマを扱う教材を通し、英語の読解を含め、英語によるコミュニケーションに不可欠な豊かな教養を身に付ける習慣を培うことができる。 4. リーディング教材とその関連する多様な練習問題を通して、4技能にわたる英語力を総合的に高めようとする意識を培うことができる。						
ルーブリック						
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1	基本的な英文法の理解に基づき、リーディング教材の各種問題を解いたり、英文を適切に読み解くことができる。		基本的な英文法の理解に基づき、リーディング教材の各種問題を解くことができる。		基本的な英文法の理解に基づき、リーディング教材の各種問題を解くことができない。	
評価項目2	音読がスムーズにでき、英語のリズム、発音、アクセントを的確に表現でき、英語を聞いたり話したりする能力に応用できる。		シャドーイングを含めた音読がスムーズにでき、英語のリズム、発音、アクセントを的確に表現できる。		シャドーイングを含めた音読がスムーズにできず、英語のリズム、発音、アクセントを的確に表現できない。	
評価項目3	英語力に必要な教養(文化的、社会的、歴史的背景知識)を得て、英語の4技能に対応する総合力を獲得することができる。		英語力に必要な教養を得て、英語の4技能に対応する総合的な練習問題を解くことができる。		英語力に必要な教養を得ることができず、英語の4技能に対応する総合的な練習問題を解くことができない。	
学科の到達目標項目との関係						
教育方法等						
概要	・この科目は英文法力の育成を中心に添えた科目である。 ・英語力は総合力であり、英文法力に加えて、語彙力、その社会に存在する文化的・歴史的背景知識も重視する。 ・さまざまな分野のリーディング教材を通して、それらの総合力の育成を目指す。 ・声に出して英文を読む力(音読)、内容を正確に読み取る力(精読)の育成に重きを置く。 ・シャドーイングなどの発声は語彙力増強にも貢献し、またリスニング力とスピーキング力にもつながる。 ・リーディング教材の精読は英文法力の強化とライティング力の向上にも大きく貢献する。					
授業の進め方・方法	1. リーディング教材に関し、基本文型を中心とした既習の文法事項と語彙の確認テストを授業のはじめに行う。 2. 文法や語彙、内容を意識しながら、リーディング教材をシャドーイングする。 3. 語彙の内部構造(複合と派生)や語源に注意しながら、英単語の綴り、発音、アクセント、意味を確認する。 4. 読解問題を解きながら、リーディング教材の内容把握を行う。 5. 文法・ライティング問題を解きながら、リーディング教材で扱われている文法事項の確認と定着をはかる。 6. 発音・リスニング問題を解きながら、リーディング教材で学んだものの応用力を身に付ける。					
注意点	教科書を中心に基本的な語彙や文法事項について学習し、付属する実践問題に取り組むことで学習内容の定着をはかる。総合的な英語力の観点から、各自が到達目標を達成できるよう、事前学習および復習を自発的に行うことを期待する。					
授業計画						
		週	授業内容		週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	・授業の概要(目標、評価方法など)を説明する。 ・高専1年間で学んだ英文法の基礎を確認し、読解のツールとして利用する準備とする。		・単語の綴りや発音法則を意識して辞書が引ける。 ・品詞と文型、句と節、準動詞などの基本的な項目を復習し、それぞれの項目が理解できる。	
		2週	・Lesson 1「カルチャーショックとは」を読み、練習問題を解きながら内容確認する。		・英文の基本的な構造(5文型)を把握し、読解に活用することができる。	
		3週	・Lesson 1「カルチャーショックとは」を読み、練習問題を解きながら内容確認する。		時制(現在・過去・未来)と進行形の組み合わせが理解できる。	
		4週	・Lesson 2「伝統的な道具としてのかご」を読み、練習問題を解きながら内容確認する。		時制(現在・過去・未来)と進行形の組み合わせが理解できる。	
		5週	・Lesson 2「伝統的な道具としてのかご」を読み、練習問題を解きながら内容確認する。		・時制(現在・過去・未来)と完了形の組み合わせが理解できる。	
		6週	・Lesson 3「水耕栽培の先駆者」を読み、練習問題を解きながら内容確認する。		・時制(現在・過去・未来)と完了形の組み合わせが理解できる。	
		7週	・Lesson 3「水耕栽培の先駆者」を読み、練習問題を解きながら内容確認する。		・基本的な助動詞の用法、完了形と組み合わせた応用形が理解できる。	
		8週	・Lesson 4「ホストファミリーへのメールとその返信」を読み、練習問題を解きながら内容確認する。		・これまで学習した文法項目を踏まえた上で、リーディングを正確に行うことができる。	
	2ndQ	9週	・Lesson 4「ホストファミリーへのメールとその返信」を読み、練習問題を解きながら内容確認する。		・基本的な時制・相・態の体系が理解できる。	
		10週	・Lesson 5「将棋とチェスの由来」を読み、練習問題を解きながら内容確認する。		・基本的な受動態、注意すべき受動態が理解できる。	
		11週	・Lesson 5「将棋とチェスの由来」を読み、練習問題を解きながら内容確認する。		・基本的な受動態、注意すべき受動態が理解できる。	
		12週	・Lesson 6「傘の歴史」を読み、練習問題を解きながら内容確認する。		・不定詞の基本的用法が理解できる。	
		13週	・Lesson 6「傘の歴史」を読み、練習問題を解きながら内容確認する。		・不定詞の基本的用法が理解できる。	

後期		14週	・ Lesson 7「そこにあるのに聞こえない音」を読み、練習問題を解きながら内容確認する。	・ 不定詞の意味上の主語、原型不定詞、完了不定詞が理解できる。
		15週	前期期末試験	・ これまで学習した文法項目を踏まえた上で、リーディングを正確に行うことができる。
		16週	・ 学習事項の習得状況の確認と復習。	・ これまで学習した文法項目を踏まえた上で、リーディングを正確に行うことができる。
	3rdQ	1週	・ Lesson 8「セルフイーが心に与える影響」を読み、練習問題を解きながら内容確認する。	・ 動名詞の基本的用法、意味上の主語、完了動名詞が理解できる。
		2週	・ Lesson 8「セルフイーが心に与える影響」を読み、練習問題を解きながら内容確認する。	・ 動名詞の基本的用法、意味上の主語、完了動名詞が理解できる。
		3週	・ Lesson 9「スピーチコンテストの案内」を読み、練習問題を解きながら内容確認する。	・ 分詞の形容詞的用法、分詞構文が理解できる。
		4週	・ Lesson 9「スピーチコンテストの案内」を読み、練習問題を解きながら内容確認する。	・ 分詞の形容詞的用法、分詞構文が理解できる。
		5週	・ Lesson 10「自転車に優しい都市」を読み、練習問題を解きながら内容確認する。	・ 準動詞（不定詞、動名詞、分詞）が体系的に理解できる。
		6週	・ Lesson 10「自転車に優しい都市」を読み、練習問題を解きながら内容確認する。	・ 準動詞（不定詞、動名詞、分詞）が体系的に理解できる。
		7週	・ Lesson 11「外国人観光客の増加」を読み、練習問題を解きながら内容確認する。	・ 原級、比較級、最上級が理解できる。
		8週	後期中間試験	・ これまで学習した文法項目を踏まえた上で、リーディングを正確に行うことができる。
	4thQ	9週	・ 学習事項の習得状況の確認と復習。	・ これまで学習した文法項目を踏まえた上で、リーディングを正確に行うことができる。
		10週	・ Lesson 12「ナスカの地上絵」を読み、練習問題を解きながら内容確認する。	・ 関係代名詞が理解できる。
		11週	・ Lesson 13「イタリア料理店の広告」を読み、練習問題を解きながら内容確認する。	・ 関係代名詞、関係副詞、関係詞の継続用法が理解できる。
		12週	・ Lesson 13「イタリア料理店の広告」を読み、練習問題を解きながら内容確認する。	・ 関係代名詞、関係副詞、関係詞の継続用法が理解できる。
		13週	・ Lesson 14「地震を予測する動物」を読み、練習問題を解きながら内容確認する。	・ 仮定法、仮定法過去完了が理解できる。
		14週	・ Lesson 15「キャンパスでの会話」を読み、練習問題を解きながら内容確認する。	・ 願望を表す表現、その他の重要表現が理解できる。
		15週	後期期末試験	・ これまで学習した文法項目を踏まえた上で、リーディングを正確に行うことができる。
		16週	・ 学習事項の習得状況の確認と復習。	・ 1年間で学習した内容を概観できる。

評価割合							
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	68	0	0	0	0	32	100
基礎的能力	68	0	0	0	0	32	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0